

# デジタル庁における デザイン組織の役割と活動

政策へのデザインの導入

RIETI政策シンポジウム：デジタル時代の価値創出ーデザイン経営の視点からー

1. はじめに
2. デジタル庁における**デザイン組織の役割**
3. デジタル庁における**デザインの活動と事例**

## 1. はじめに

## 2. デジタル庁におけるデザイン組織の役割

## 3. デジタル庁におけるデザインの活動と事例

今までの行政とは異なるサービス提供

開発期間

3ヶ月

主要な機能追加

1ヶ月

アプリレビュー (App Store)

3.7 /5

ダウンロード数 (Android版のみ)

1,000,000+



※画面UIはアップデート検討中の画像です。



今までの行政とは異なるサービス提供

制作期間

3 週間

ドキュメントページ数

124 → 14

提供形式

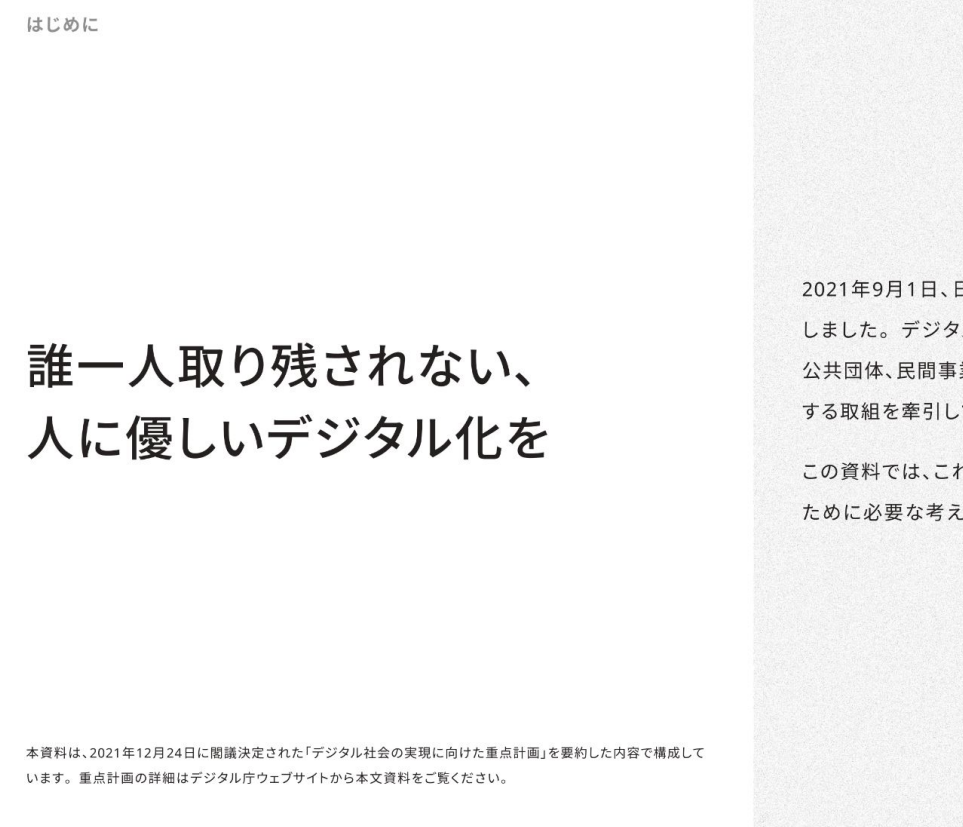
Web+PDF

デジタルの活用で  
一人ひとりの幸せ  
実現するために

デジタル社会の実現に向けた重点計画 紹介資料

2021年12月24日

デジタル庁



9:50

digital.go.jp

デジタル庁

ホーム > 政策

> デジタル社会の実現に向けた重点計画

デジタル社会の実現に  
向けた重点計画

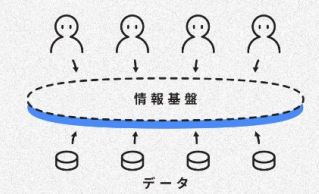
デジタルの活用で  
一人ひとりの幸せを  
実現するために

このページでは、2021年12月24日に閣議決定  
された「デジタル社会の実現に向けた重点計  
画」を要約してご紹介しています。正式な内  
容はページ下部の資料をご覧ください。

長

力強く成長する社会を実現するため、官民  
の相乗効果を発揮することにより、  
実現します。

新型コロナウイルス感染症対応で行政  
の非効率性が顕在化しました。今こそ  
デジタルを最大限活用した課題解決  
が必要です。



データを誰でも扱いやすく

国民が自らのデータを必要ときに素早く利用  
できるようにするための情報基盤を構築します。  
情報基盤は、扱いやすく標準化された形式・方法  
で、活用できるようにします。

官民の相乗効果を発揮する

情報基盤は、モビリティ・物流・取引等のデータも  
統合し、民間企業が活用できるようにオープン化  
します。これにより、新たな産業の育成と、国民が  
より豊かなサービスを受けられるようになります。

オープンデータ原則

相互連携分野

デジタル  
社会

利用者の視点に立ち、誰もが行政サービスを  
それにより、これまで解決が難しかった課題  
を解決します。

従来はできないと諦めていたことが  
デジタル技術の導入によって可能に  
なる中、目指す社会のアップデートが  
必要です。



高齢者や障害者の支援

高齢者や障害者がデジタルを活用できるように  
する環境整備を行います。情報機器に不慣れな人  
にも分かりやすく、誰もが使いたくなるサービス体験  
を実現します。

情報リテラシーの啓発

SNSの誤用や社会の分断といったデジタル  
社会の負の側面に対応する施策を実施します。  
デジタル社会における情報リテラシーの普及と  
啓発を官民両方から支援します。

皆で支え合うデジタル共生社会

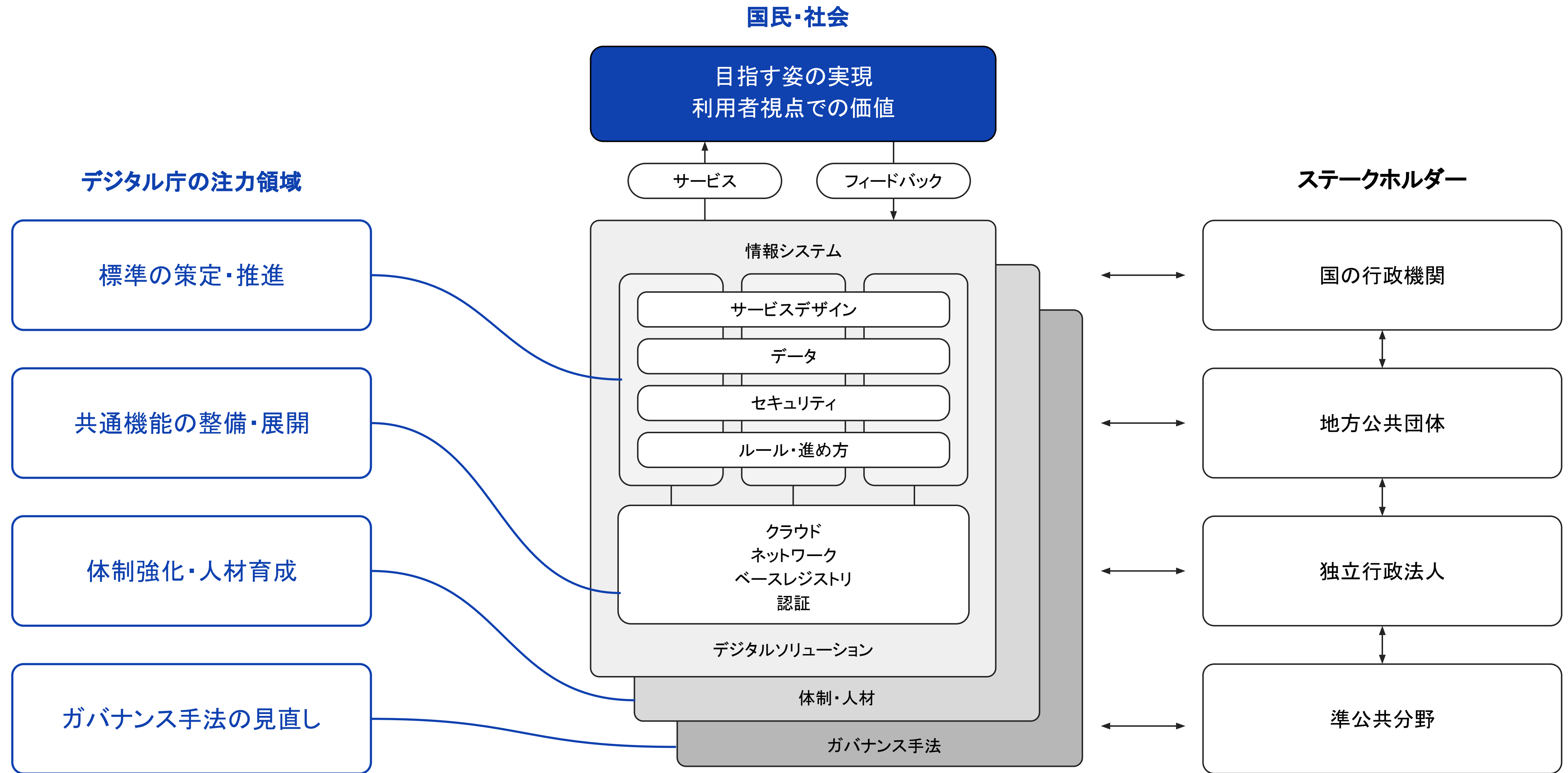


1. はじめに

2. デジタル庁における**デザイン組織の役割**

3. デジタル庁における**デザインの活動と事例**

# デジタル庁の社会における役割



# デザイン活動が求められる主な領域

## 国民・社会

目指す姿の実現  
利用者視点での価値

サービス      フィードバック

### 情報システム

サービスデザイン

データ

セキュリティ

ルール・進め方

クラウド  
ネットワーク  
ベースレジストリ  
認証

デジタルソリューション

体制・人材

ガバナンス手法

## デジタル庁の注力領域

A

標準の策定・推進

共通機能の整備・展開

B

体制強化・人材育成

C

ガバナンス手法の見直し

D

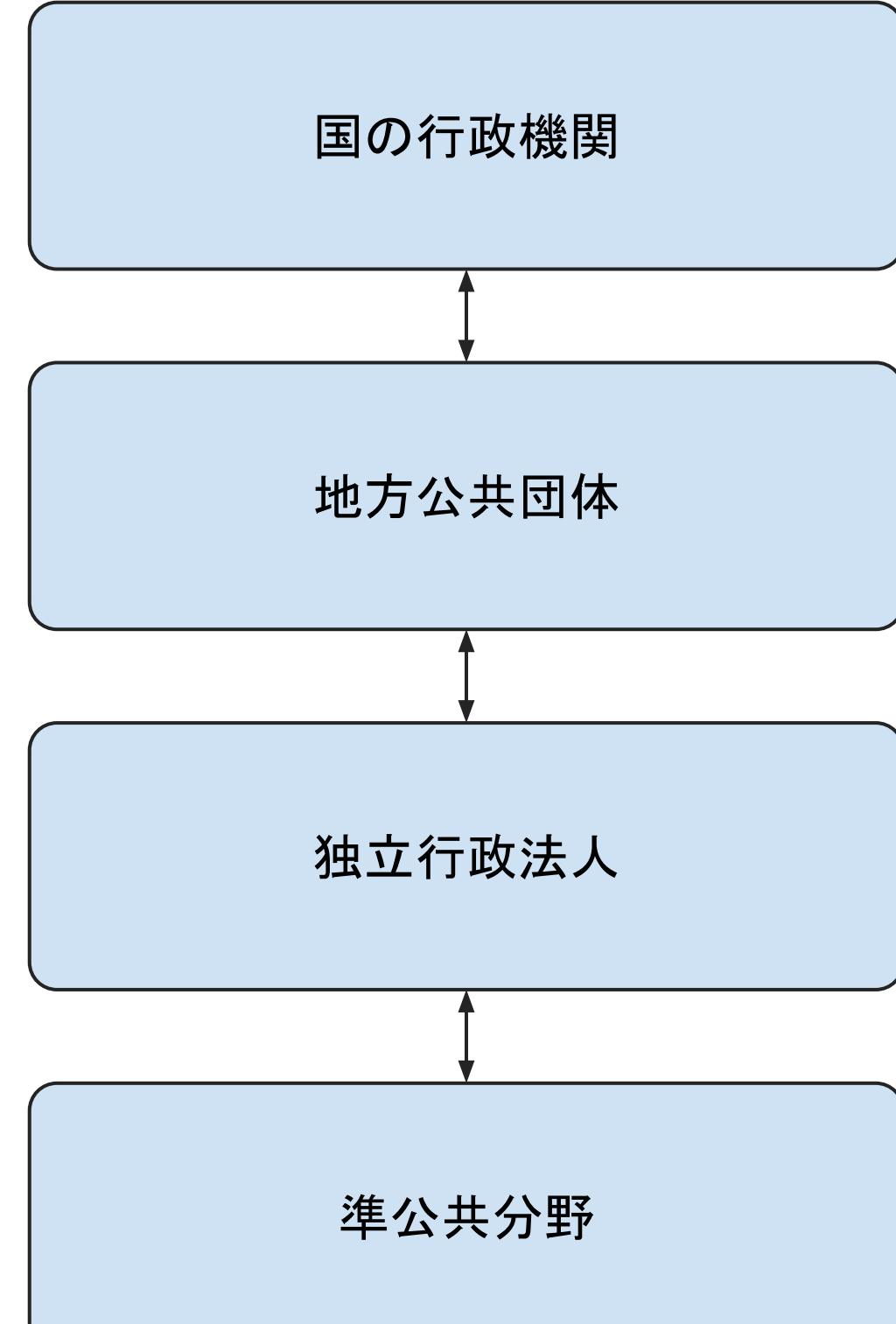
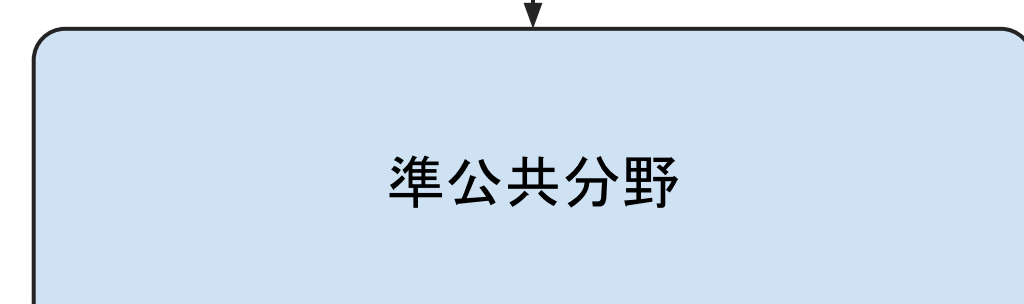
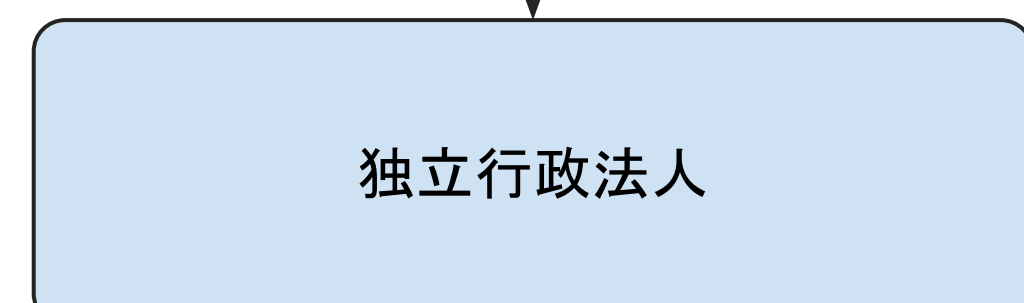
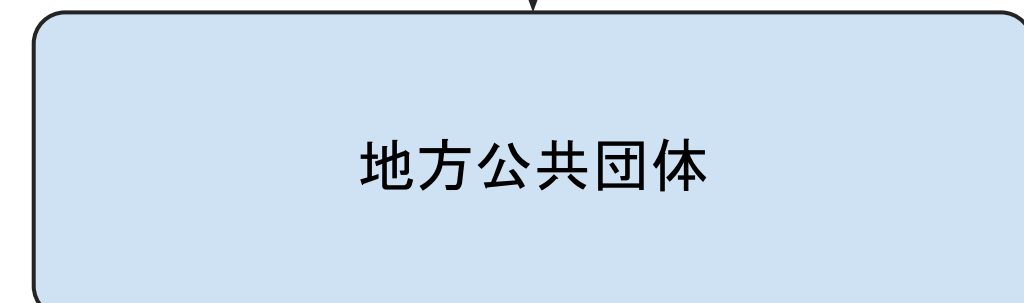
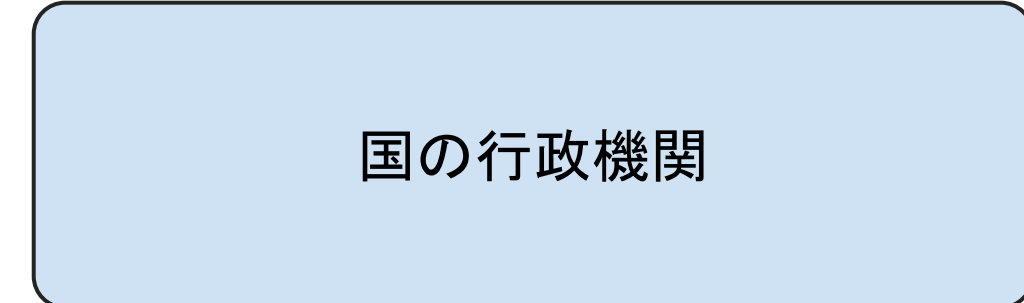
## ステークホルダー

国の行政機関

地方公共団体

独立行政法人

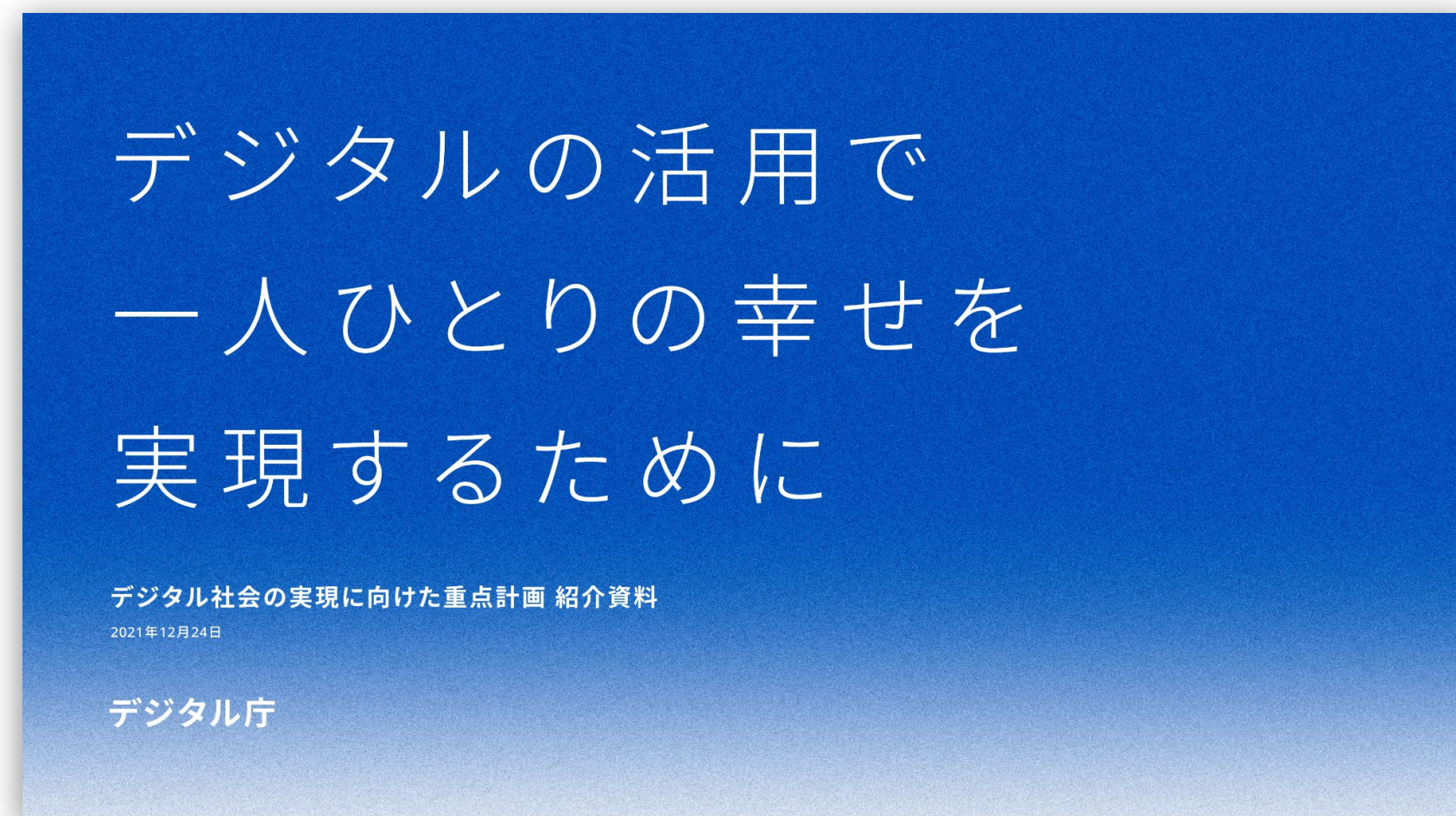
準公共分野



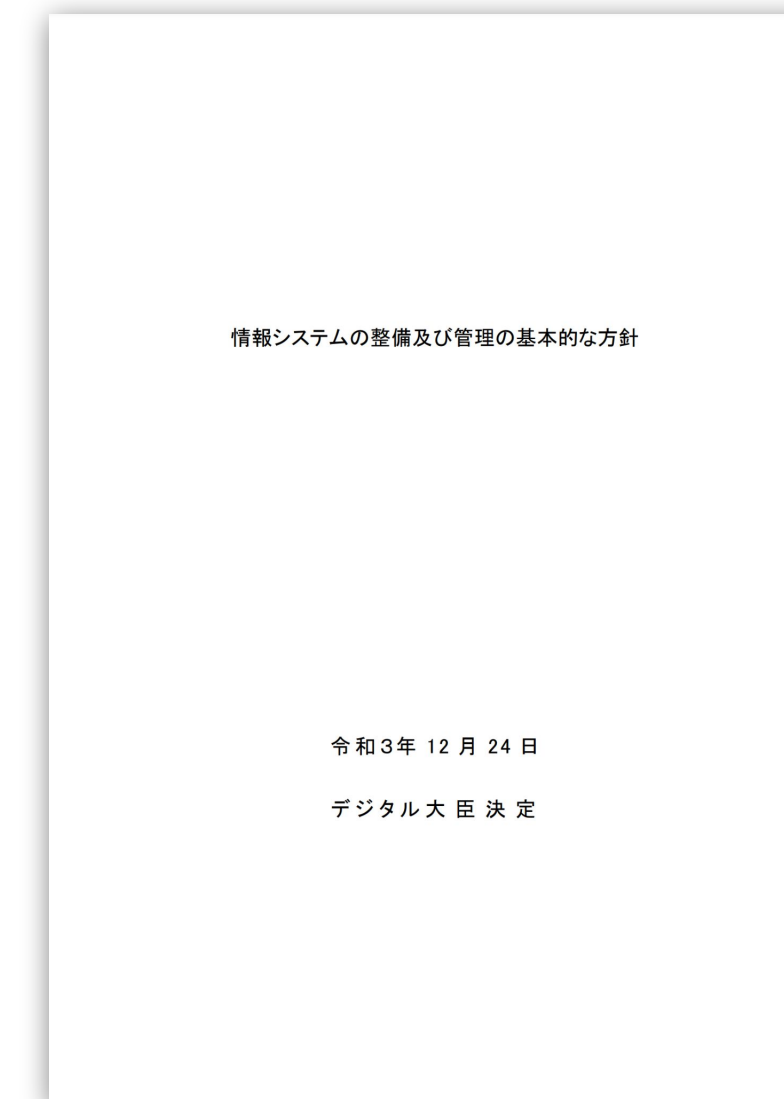


## デザイン活動が求められる主な領域

デジタル社会の実現に向けた重点計画



情報システムの整備及び管理の基本的な方針



2021年12月24日に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」ならびに「情報システムの整備及び管理の基本的な方針」にもとづきサービスデザインの推進と体制整備を実施します。

## デザイン活動が求められる主な領域

### デジタル社会の実現に向けた重点計画

- ・ 利用者視点でのサービス設計
- ・ デザイン思考に基づくサービス検討
- ・ UI/UX/アクセシビリティの確保
- ・ 官民連携
- ・ 職員の意識改革
- ・ 専用人材の活用
- ・ デジタル庁主導
- ・ 他の政府機関等への横展開

### 情報システムの整備及び管理の基本的な方針

- ・ 利用者の立場で事実を把握
- ・ 利用者との協働
- ・ サービスデザイン思考
- ・ サービス設計12箇条
- ・ 各プロジェクトでの推進を徹底
- ・ ユニバーサルデザインを考慮したUI
- ・ デザインシステム等の整備
- ・ バックオフィスも含めたプロセス再設計
- ・ 標準ガイドライン



# デジタル庁におけるデザイン組織の役割

1

推進する

持続的な  
サービスデザイン  
推進と体制整備

体制強化

- ・官民連携
- ・専用人材の活用

2

実装する

プロダクトや  
コミュニケーション  
デザインの実装

標準の策定・推進

- ・利用者視点でのサービス設計
- ・UI/UX/アクセシビリティの確保

3

整備する

サービスデザイン  
プロセスと  
ガイドライン整備

ガバナンス見直し

- ・各プロジェクトでの推進を徹底
- ・デザインシステム等の整備

4

共有する

サービスデザイン  
の知見共有と  
文化醸成

人材育成

- ・職員の意識改革
- ・サービスデザイン思考

5

協業する

府省庁や自治体等  
サービスデザイン  
協業の推進

関係者との協業

- ・デジタル庁主導
- ・他の政府機関等への横展開

# 行政におけるデザイン活動の領域

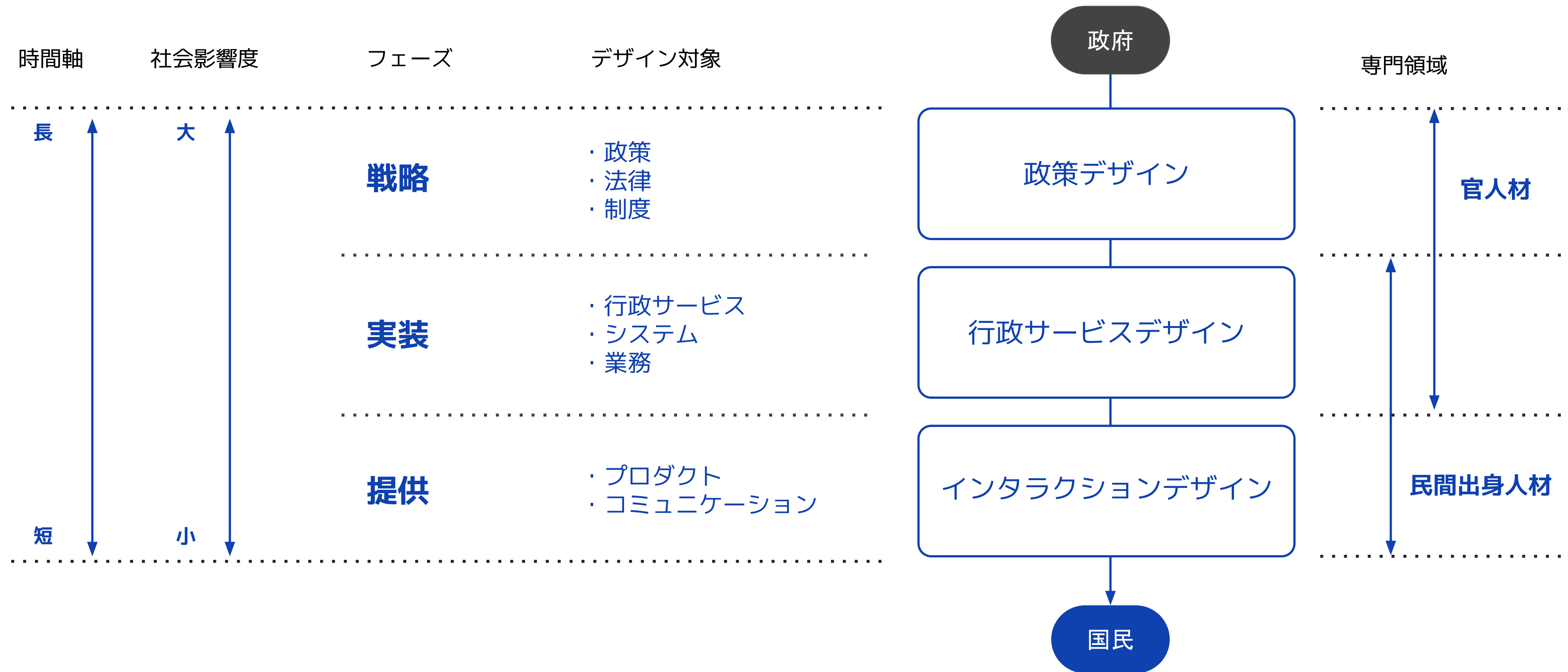




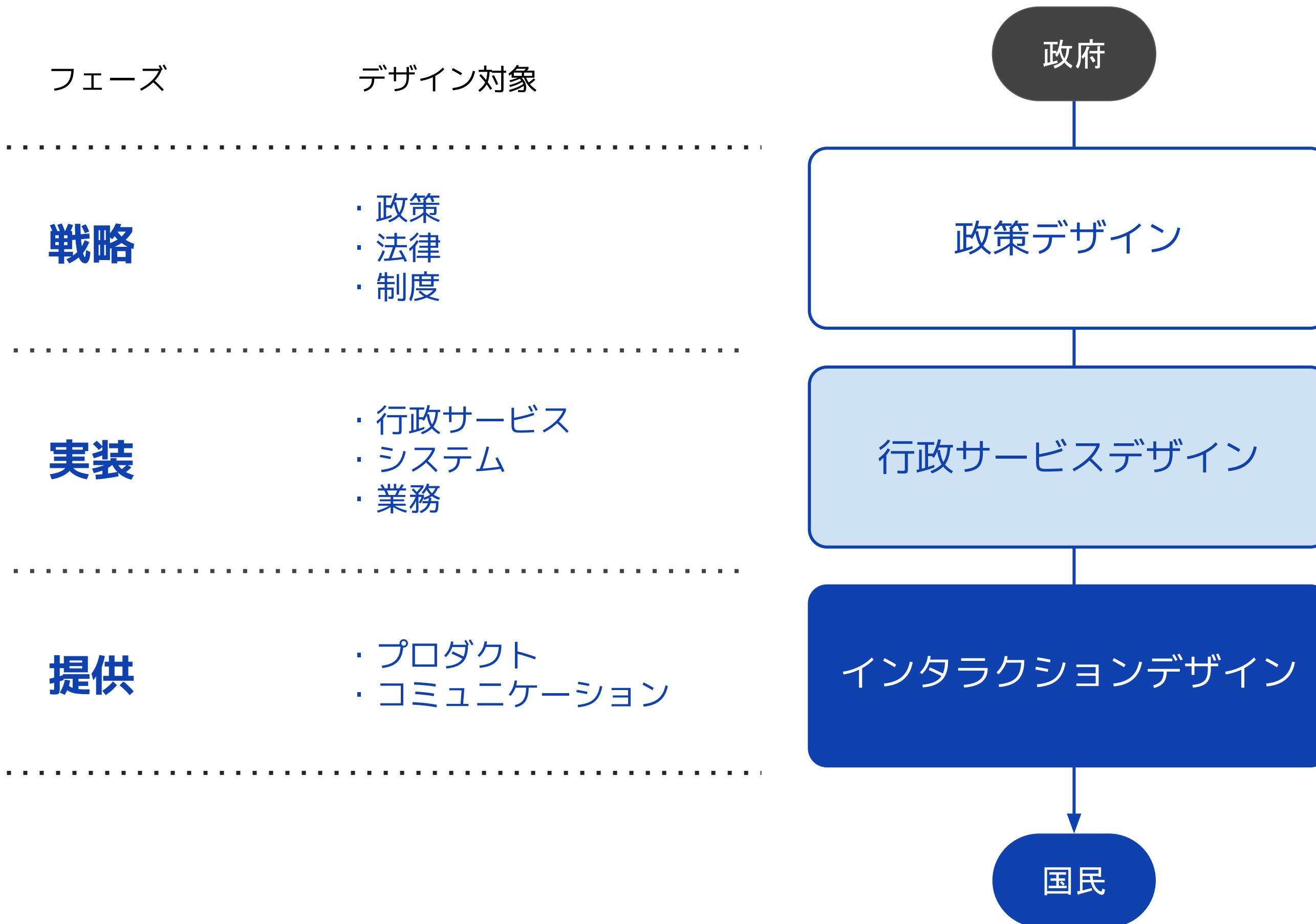
# 行政におけるデザイン活動の領域



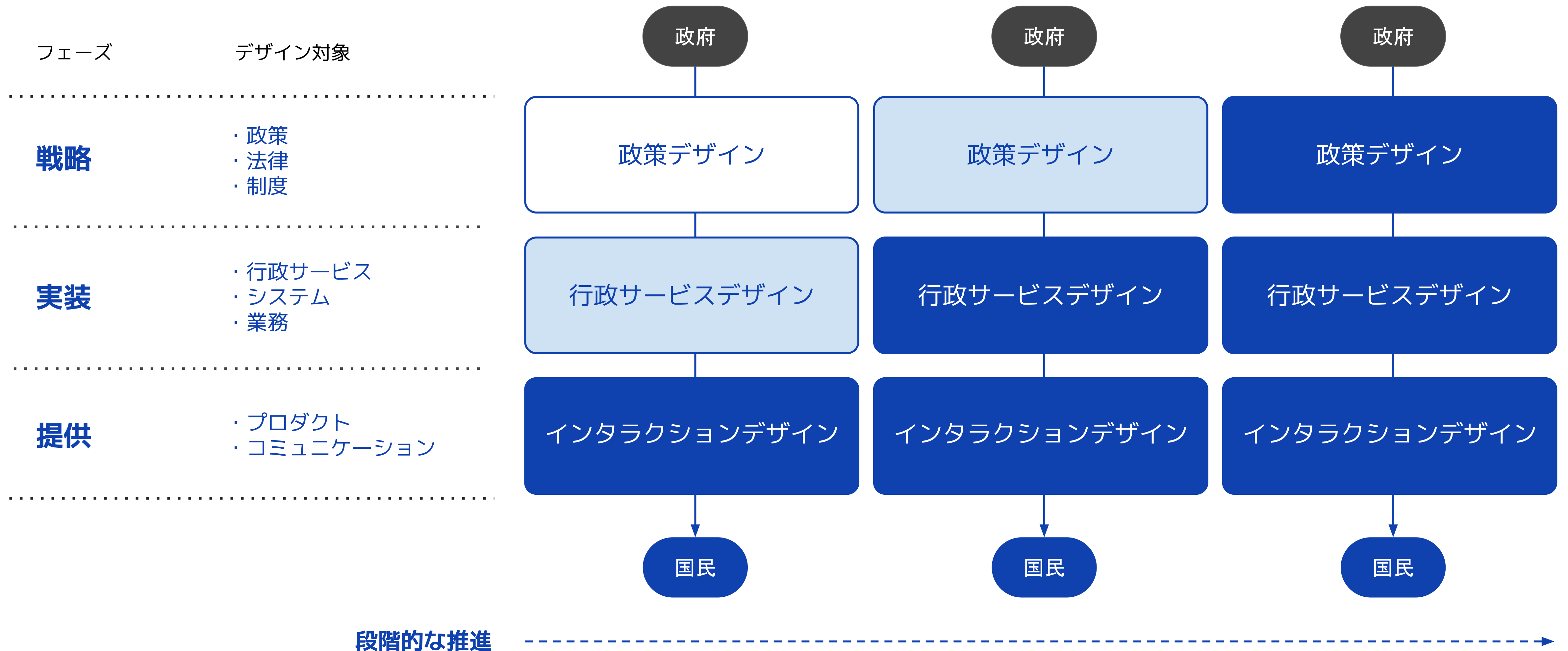
# 行政におけるデザイン活動の領域



# 行政におけるデザイン活動の領域



# 行政におけるデザイン活動の領域





1. はじめに
2. デジタル庁におけるデザイン組織の役割
3. デジタル庁におけるデザインの活動と事例

## プロジェクトにおけるデザイン実装

マイナポータル  
e-Gov

ワクチン接種証明書アプリ  
マイナポイントアプリ

府省庁ウェブサイト  
デジタル庁ウェブサイト

### 明確な優先順位をつけて実施

利用者数・アクセス数が多い

緊急度が高い

短期間で成果が確認できる

プロジェクトとして難易度低い



# デザインプロセスの整備

## 費用対効果が高い手段から着手

デザインプロセス紹介

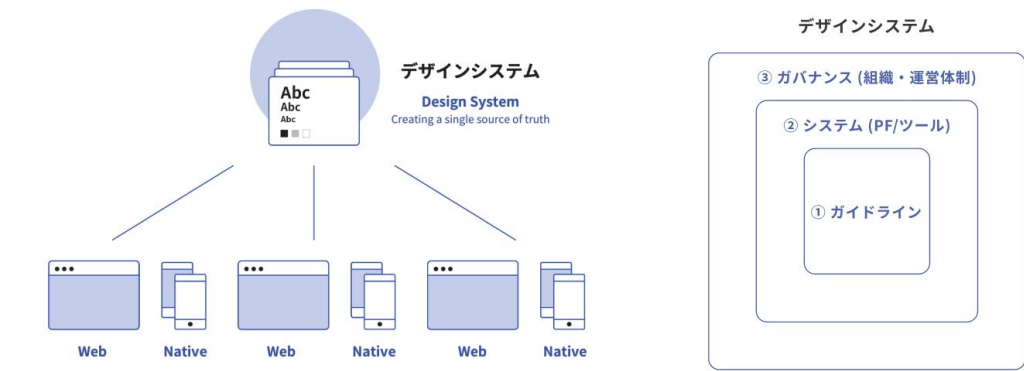
デザイン相談

調達仕様書レビュー

デザインシステム提供

### 0.5 デザインシステムとは

デザインシステムとは、一般的に複数のデジタルプロダクトを横断し、一貫したUI/UX構築を実現するための再利用可能な仕組みを指します。その構築要素には、デジタルプロダクトの構築に関する規則を定めたガイド線、開発コードを含むグラフィックパーツの集合体、そしてそれらを効率的に活用するためのガバナンス体制等が含まれます。



Copyright © 2021 Digital Agency. All rights reserved.

### フォントサイズ

サイト全体で一貫したタイポグラフィを構築するためには、一定のスケールが必要で、

デザインディレクションを元に、自然の原理であるフィボナッチ数列の法則を基準としてフォントサイズバリエーションを定義します。

画面ページタイトルや見出し、小見出し等でH1~H6の上から順に使用します。見出しはBold(700)を使用し、本文よりも強調する事で情報の視認性や可読性を高める事を目的とします。本文以下のテキストではRegular(400)を使用する事で、視認性と判断性を高めます。

PC/スマホ共通

- H1/42px/Bold(700)/150%
H2/32px/Bold(700)/150%
H3/26px/Bold(700)/150%
H4/22px/Bold(700)/150%
H5/20px/Bold(700)/150%
H6/18px/Bold(700)/150%
Body&Button/16px/Regular(400)/150%
Body&Caption/14px/Regular(400)/150%
Caption/12px/Regular(400)/150%

### 文字行間

本文は175%とし、ヘディングやボタン等は150%で設定する事を推奨します。数値がベースラインのグリッドに合うよう4の倍数値を使用します。

### 文字行間について

本文の文字の行間に關しては...

Table with columns: style, font-size, line-height: 1.5, line-height: 1.75

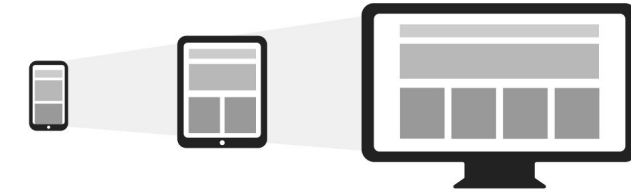
イントロダクション

### 4.1.2 デザインディレクション

デザインディレクションは利用者だけでなく、デザイナー、開発者など関わる人々を第一に考え一貫性や拡張性のあるデザイン、使いやすいサービスを構築する事を目的に作成されています。デジタルの中にも自然における摂理や均衡を取り入れ、調和の取れた美しいデザインと発展を目指します。

### モバイルファースト

全てのデバイスに対してユーザーニーズを最適化させる為に、最初に単一列である制約の多いモバイルデバイスからデザインを初め、タブレット、デスクトップと拡張していきます。



### 6つの動詞



自然界における数列に倣い、各スタイルやコンポーネント、画面に対して一貫性を担保し、安定したデザインを提供すること (2.2 タイポグラフィ参照)

幾何学を意識し一貫性を担保する為にグリッドやキーラインを用いて調和のとれたデザインを心がけること (2.3 レイアウトグリッド参照)

四季折々の彩に倣い各層のキーカラーを尊重し、情報を適感的に伝える手段として色付けを行うこと (2.1 カラー参照)

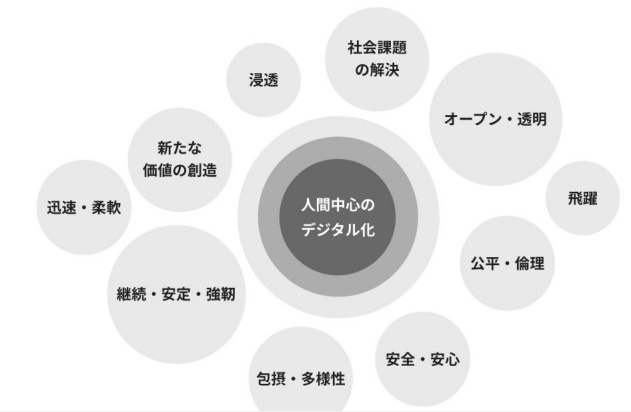
汎用性を念頭に、最小単位のコンポーネントを積み出し、組み合わせる事で広げ育てること

人(利用者や関係者)に目を向け、一貫したデザインと一連の体験を生み出すこと

エリアやコンテンツを無理に分断せず、空間を活かし余白を用いる事で美しい物語を生み出すこと

### デジタル社会形成10原則

デジタル社会形成10原則とは、多様な国民がデジタルの活用によってニーズに合ったサービスを選択でき幸せになれる「誰一人取り残さない」「人に優しいデジタル化」を旨として進めていく為に、日本のデジタル社会形成の指針として令和2年10月28日に成された大方向です。



### 基本カラー

基本色は各層共通で一貫して使われる色です。基本色から役割に応じて色を選びます。

### バックグラウンド

- #FFFFFF ホワイト
#F9F9F9 フォッター、リスト、カード
#F4F4F4 引用

### テキスト

- #222222 基本
#666666 注釈
#999999 用途性、プレースホルダー

### ボタン

- #0F41AF フライマリ/Normal
#001765 フライマリ/Hover, Active
#E7EEFD エコナダリ/Hover, Active
#BEBEBE ボタン/Disabled

### リスト

- #355FBC フルノーマル
#355FBC フルノーマル
#496FC2 フルノーマル
#EFEFEF フルノーマル
#E5E5E5 グレーノーマル

### ステータス

- #FFD300 フォーカス
#2F71BD インフォメーション
#259D63 サクセス
#F9BD38 エラー

### ソーシャルメディア

- #1DA1F2 Twitter
#1877F2 Facebook

### 色弱・色盲への配慮

人間の色の認識のさまであるため、ある人にとって情報が欠損されないようにために、色の使用には注意が必要です。色が、情報を伝える、動作を示す、反応を促す、又は視覚的な要素を判別するための唯一の視覚的手段にならないようにします。達成基準 1.4.1 色の使用 https://waic.jp/docs/WCAG21/#use-of-color

### C型色覚(一般色覚)の見え方

Visual comparison of C-type color vision with buttons and links.

### 文字

日常生活に大きな影響がある行政サービス。利用者の目線から使いやすいものを向上させていきます。

コントラスト比 15.1 : 1

送信

コントラスト比 8 : 1

※画像は現在検討中の内容です。



## デザイン知見の共有

### アクセスしやすい仕組みづくり

コミュニティマネージャー

デザイン相談窓口

庁内勉強会

デザイナー間連携

## デジタル庁

### ウェブアクセシビリティ導入ガイドブック

Introduction to Web Accessibility

デジタル庁デザインチーム

2022年（令和4年）3月11日発行

### ウェブアクセシビリティの基本を知る

#### アクセシビリティは万人のためのもの

アクセシビリティと聞くと、障害者の方向けの対応をすることというイメージを持つ人が多いかもしれません。でも、老眼で文字が読みにくくなることも、アクセシビリティの問題ですし、地方の人にとって東京にある府省庁が発行する情報にアクセスしづらいことも、アクセシビリティの問題です。「アクセシビリティ」という単語は、Access（近づく、アクセスする）とAbility（能力、〜できること）に分けることができます。「近づくことができる」「アクセスできる」という意味から派生して、「（製品やサービスを）利用できること、またはその到達度」という意味でも使われます。テレビやラジオ、ウェブの登場によって、いろいろな人にとって情報のアクセシビリティは高まってきました。

#### なぜ、ウェブのアクセシビリティに注目するのか

さまざまなユーザーが、さまざまなデバイスや環境でウェブにアクセスすることが当たり前になっている今、こうしたウェブ利用方法の多様化にこたえる1つのアプローチがウェブアクセシビリティです。利用者の障害の有無やその程度、年齢や利用環境にかかわらず、ウェブで提供されている情報やサービスを利用できること、またはその到達度を意味しています。

具体的には、以下のような状態になることが望まれます。

- 目が見えなくても情報が伝わる・操作できること。
- キーボードだけで操作できること。
- 一部の色が区別できなくても情報が欠けないこと。
- 音声コンテンツや動画コンテンツでは、音声が入らなくても何を話しているかわかること。

また、ウェブは最終的なアウトプットの形を変えることができます。HTMLなどの中間言語で記述された情報をブラウザなどのソフトウェアが人間が解釈できる情報（の表現方法）に変換してユーザーに情報を伝えています（これは通常のウェブブラウザでも同じです）。そのため、映像や紙媒体と違ってユーザーが、情報を読み上げるか、視覚的に閲覧するのか、自分の好きな方法を選択しやすいメディアです。また、インターネットやウェブで使われる技術はそもそもの開発思想として、誰でも使えること＝アクセシビリティを念頭に設計されています。HTTP、HTML、CSSなどウェブの根幹となる技術を開発したティム・バーナーズ・リーはこのような言葉を残しています。

The power of the Web is in its universality. Access by everyone regardless of disability is an essential aspect. ウェブの持つパワーはそのユニバーサル性にある。障害の有無に関係なく、誰もがアクセスできることがWebの本質なのである。

注1 Accessibility: <https://www.w3.org/standards/webdesign/accessibility>

### ウェブアクセシビリティの

#### JIS X 8341-3:2016 と WCAG と

JIS X 8341-3:2016 は正式名称を「高齢者・障害者用第3部：ウェブコンテンツ」といいます。ウェブコンテンツのアクセシビリティに関する規格です。WCAG 2.0 (World Wide Web Consortium)「WCAG 2.0 (Web Content Accessibility Guidelines) 2.0」に達成する方法を JIS に準拠するために、多くの行政サービス・ウェブサイトの調達時は、この規格にも準拠して定義されています。

#### WCAG 2.0 から必要なドキュメントを探

WCAG は、以下の文書で構成されています。

#### WCAG 2.0

WCAG は、「知覚可能」「操作可能」「理解可能」の目標にあたる12のガイドライン、さらにそれぞれの達成基準は、技術・デバイスの変化や進化に対応

#### WCAG 2.0 解説書 (Understanding WCAG 2.0)

各達成基準の意図、事例、関連リソース、達成方法など、各達成基準の意図、事例、関連リソース、達成方法がどのような目的で作られたかが書かれています。デバイスの変更に合わせて更新・修正が随時行われ

#### WCAG 2.0 達成方法集 (Techniques for WCAG 2.0)

各達成基準を達成するための方法が書かれています。達成方法の組み合わせ条件は達成方法集の表で示されています。達成方法の組み合わせ条件は達成方法集の表で示されています。

- G … 特定の技術に依存しない一般的な内容
- H … HTML を使った達成方法
- C … CSS を使った達成方法
- SCR … クライアントサイドスクリプトを使用
- SVR … サーバサイドスクリプトを使った達成方法
- SM … SMIL (Synchronized Multimedia Inte



以上です。  
ご視聴ありがとうございました。